

白樺林の保全を目的としたソーシャルビジネスの基盤構築事業 ～白樺を核とした地域ブランドの普及促進に向けて～

取組に至る背景・事業の目的

- 立科町の白樺高原は、全国有数の美しい白樺林として親しまれている一方、自生する白樺と地元の住民が植林した白樺が多数混在かつ密集しており、一本一本の白樺がとても細く、元気に育つ環境が整備されていない。
- 将来に向けて継続的に美しい景観を維持できるよう、白樺林の保全に向けた循環サイクルの構築及び白樺を核とした地域ブランドの普及促進を図る。

事業内容

- ① スキルアップ事業
 - ・ 白樺樹皮細工のスキル習得のための講習会（全6回）
立科町での開催（5回）、東京での開催（1回）
 - ・ バイアスカゴ、直行編み、ハンドルかごの基本編と、
名刺入れやブーツなどの応用編の技術を習得する。
- ② 地域特性を生かしたブランディング構築
 - ・ 専門家派遣によるアドバイス含み、ワークショップ及び
ミーティング形式で開催（全8回）
- ③ PR・広報事業
 - ・ ホームページ制作：作り手の紹介、商品加工の過程の紹介
 - ・パンフレット制作：白樺樹皮細工の製作過程や商品紹介

【スキルアップ事業の様子】



事業効果

- ① 白樺樹皮細工の作り手が4名増え、また基本形だけでなく名刺入れやブーツなどの応用編の技術も習得することができた。
- ② ターゲットを明確にし、絞り込みをかけたことで、SNSのフォロワーが3倍以上増加した。
- ③ ホームページ及びパンフレットでの周知強化を図ったことにより、オンラインショップからの注文が増加した。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 今後も、長野県・立科町・林業総合センター・商工会・信州たてしな観光協会・その他近隣の事業者と連携・協働し、白樺を核とした景観維持及び特産品の開発に注力する。
- また、白樺高原の植樹の歴史を知らない若い町民や移住者に知ってもらえるように、情報の整理や発信をする。

【選定のポイント】

地域特性を生かしたブランディング構築事業等の実施を通して、白樺を核とした地域ブランドの普及促進を図った。

今後は、関連業者と連携・協働し、白樺を核とした景観の維持及び特産品の開発や、白樺高原の植樹の歴史を町内外へ情報発信することで、町民の宝としての白樺林を守ることが期待される。

団体名	信州白樺クラフト製作所	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	北佐久郡立科町芦田八ヶ野 1026	事業費	1,375,016円
		支援金額	1,100,000円